



Electric Oil-Filled Heater

デロンギ
ドラゴンデジタル
オイルヒーター

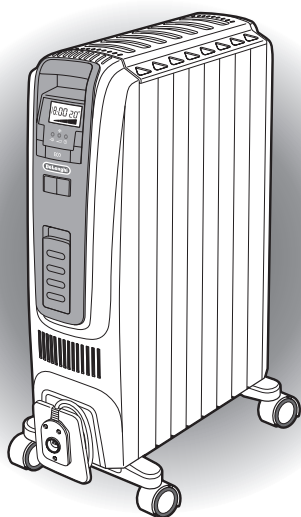
DDQ0815 家庭用

取扱説明書

保証書付

このたびは、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、保証書(裏表紙)とともに大切に保管してください。

- 本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。
- 本体の型式番号「DDQ0815」の後に続くハイフンおよびアルファベットは、色番号を表すものです。



お使いになる前にお読みください。

安全上のご注意	2
ご使用前に.....	4
オイルヒーターについて	6
設置する	6
各部の名称とはたらき	8

準備

基本的な操作について説明しています。

暖房運転の基本操作.....	10
● 暖房運転	10
● 節電しながら快適な暖房を ～暖房設定のポイント～	11

基本操作

「タイマー」機能について説明しています。

タイマーを使ってもっと便利に	12
現在時刻の設定	13
タイマー運転のしかた	14

タイマー

知っておくと便利な機能について説明しています。

チャイルドロック	17
操作音オフ.....	17
ディスプレイの明るさ	17
凍結防止機能.....	17
設定内容のリセット.....	17

便利な機能

修理をご依頼いただく前にお読みいただきたい内容や本機の仕様を記載しています。

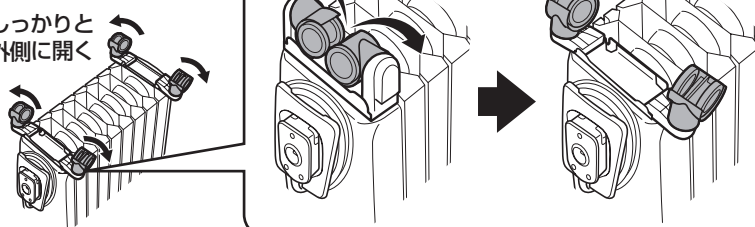
故障かな?	18
お手入れ／保管のしかた	21
仕 様	22
アフターサービス	23
保証書	裏表紙

その他

■ 折りたたみ式キャスターの開き方

- ① 本機の底面が上になるように立てる
- ② すべてのキャスターをしっかりと外側に開く
- ③ 本機をゆっくり起こす

しっかりと
外側に開く



安全上のご注意

<必ずお守りください>

- ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。



警告

誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



必ずしなければいけないことを示します。



してはいけないことを示します。



警告



指示

定格 15 A (100 V) のコンセントを本製品だけ単独で使用する

(火災の原因)

- ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しない。

電源プラグは根元までしっかりと差し込む

(火災の原因)

電源プラグやコンセントのホコリは定期的に取り除く

(火災の原因)

異常・故障時には使用を中止する

(火災・感電の原因)

故障・異常時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社テクニカルセンターに点検・修理を依頼してください。

お子様、自分で本機の温度を調節できない方には必ず付き添う

(火災・感電・やけど・けがの原因)

- ※ お子様、乳幼児、自分で本機の温度を調節できない方が近くにいるときは、必ず操作できる大人が付き添ってください。



禁止

カーテン、ふとんなど燃えやすいものや、コンセントのすぐ近くで使わない

(火災の原因)

- 電源を取るコンセントのすぐ下で使わない。
- ※ 6ページ「設置場所についてのご注意」参照

テーブルや机の下で使わない

- ※ 6ページ「設置場所についてのご注意」参照

スプレー缶などを本体の近くに置かない

(火災・けがの原因)

逆さ・横倒し・立てかけて使用しない

(火災の原因)



禁止

リモコンを小さなお子様の手が届く場所に置かない

(火災・けがの原因)

- ※ 誤って電源をいれてしまう恐れがあります。
- ※ 乾電池を取り出して飲み込む恐れがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

(感電の原因)

電源プラグ・電源コードを破損させない

(火災・感電の原因)

- コードに重いものを載せたり、本機の下敷きしない。
- コードを無理に引っ張ったり、束ねたまま使用しない。
- 本体表面など高温部や他の熱機器に近づけない。

電源プラグ・コードに異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社テクニカルセンターに点検・修理を依頼してください。

電源コードをコードホルダーに巻き付けたまま使用しない

(火災の原因)

- 余った電源コードは残さずコードホルダーから解き、伸ばしたまま使用する。

運転中に電源プラグを抜き差ししない

(火災・感電の原因)

収納の際、電源コードをコードホルダーに強く巻かない

(火災の原因)

- ※ 21ページ「お手入れ／保管のしかた」参照

穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない。

(感電・けがの原因)

- ※ 特に小さなお子様にはご注意ください。

本体や通気口をふとんや衣類などで覆わない

(火災の原因)

- 乾燥など他の用途に使用しない。

本製品を分解、改造しない

(火災・感電の原因)



注意



指示

決められた設置方法に従う

(火災・感電・やけど・けがの原因)

- 壁や電源をとるコンセント、カーテンなどから20cm以上離す
- 人やペットおよび家具などからは1m以上離す
- 毛足の長いじゅうたんや凸凹のある床は避けて、平らな場所に置く

※ 6ページ「設置場所についてのご注意」参照

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

(火災・感電の原因)

- 電源コードを無理に引っ張らない。

長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く

(火災の原因)

ヒーターの移動は、必ず本体が冷えてから行う

(やけど・けがの原因)

※ 6ページ「設置場所についてのご注意」参照

本体が転倒・落下したときは使用を中止する

(火災・感電・けがの原因)

転倒・落下時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社テクニカルセンターに点検・修理を依頼してください。



禁止

水・湿気の多い場所で使用しない

(火災・感電の原因)

- 屋外や浴室など、水や湿気の多い場所で使わない。
- 硫化ガスが発生する場所（温泉地の脱衣所）などや塩害の恐れがある場所で使用しない。

本体やリモコンに水などの液体をこぼさない

(火災・感電の原因)

本体を水に浸けたり、水洗いをしない

(火災・感電の原因)

運転中および停止後しばらくは、本体に触れない

(やけどの原因)

犬や猫などのペットの暖房に使用しない

(火災の原因)

リモコンと電池について

使い方を誤ると変形、発熱、破裂、液漏れの原因となります。次の注意事項を必ずお守りください。



指示

指定された電池のみ使用する

(火災・けがの原因)

- 取り付けの際には、プラス(+)とマイナス(-)の向きを指示どおりに入れる。
- 使い切った電池は機器から取り出す。
- 交換の際は同じ種類の乾電池を2本使用する。

長期間使用しないときは乾電池を取り出す

(火災・けがの原因)

電池は幼児の手に届かないところに置く

(火災・けがの原因)

- ※ 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。
- ※ 電池の液が身体や衣服に付いた場合は、水でよく洗い流してください。



指示

高温・高湿の場所を避けて保管する

(火災・けがの原因)



禁止

熱したり分解したり、火の中に入れない

(けがの原因)

直射日光の強い所やヒーターの放熱部の近くなど、高温になる場所に放置しない

(けがの原因)

知っておいていただきたいこと：ブレーカーについて

ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。契約電力が不足している場合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き(=落ち)ます。

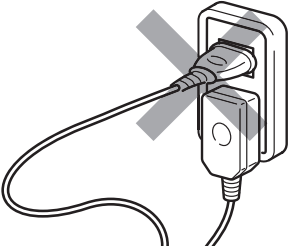
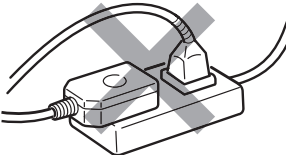
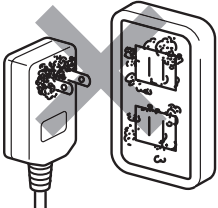
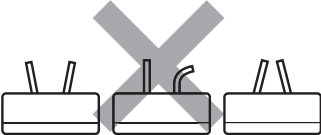
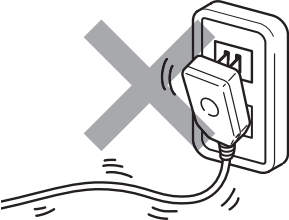
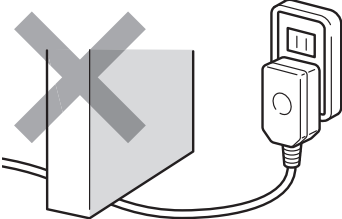
※ 契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

ご使用の前に

電源プラグ・コード、コンセントの定期点検

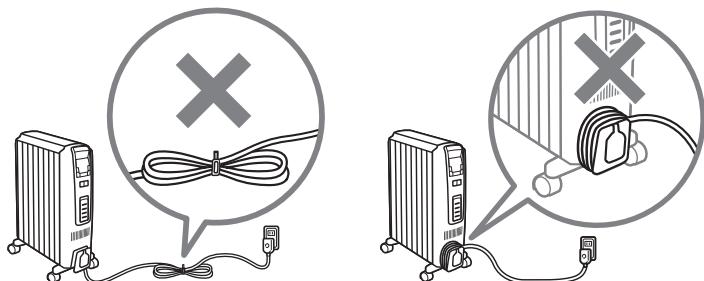
近年、「トラッキング現象」や「電源プラグとコンセントの接触不良」を原因とする火災事故が増加の傾向にあります。製品を正しく、安全にお使いいただくために、下記に従って、電源プラグ、電源コード、および壁のコンセントを定期的に点検してください。

電源プラグ・コード、コンセントの安全チェックシート

チェックポイント	詳細説明
<input type="checkbox"/> コンセントを他の機器と併用していませんか？	 <p>定格 15A (100V) の壁のコンセントをお使いください。コンセントが2口の場合は、片方を空けて単独でお使いください。 他の器具と併用して容量がオーバーすると異常発熱し、火災の原因になります。</p>
<input type="checkbox"/> 延長コードやテابلタップを使っていますか？	 <p>延長コードやテابلタップなどは使用しないでください。電源は壁のコンセントから直接お取りください。 コンセントや電源プラグ/電源コードが異常発熱し、火災の原因になります。</p>
<input type="checkbox"/> 電源プラグやコンセントにホコリがついていませんか？	 <p>付着したホコリは、掃除機などで定期的に取り除いてください。 電源プラグと壁のコンセントの接触面にホコリが付着し、湿気が加わると、トラッキング現象が発生し、火災の原因になります。</p>
<input type="checkbox"/> 電源プラグ(刃)が変形していませんか？	 <p>電源プラグ(刃)が変形した場合は、販売店または当社テクニカルセンターにプラグの交換をご依頼ください。 曲がった刃は、接触不良時の発熱により、コンセントの刃受を変形させる原因になります。 (曲がった刃をペンチなどで手直ししないでください。)</p>
<input type="checkbox"/> コンセントにガタツキはありませんか？	 <p>壁のコンセントにガタツキや緩みのある場合は、お近くの電気店に修理をご依頼ください。 緩みのあるコンセントを使用すると、電源プラグ(刃)と十分な接触が得られず異常発熱し、火災の原因になります。</p>
<input type="checkbox"/> 電源コードに重い物が載っていませんか？	 <p>電源コードに重いものを載せたり、壁に押し付けたりしないでください。 電源コードに無理な力が加わると、電源コードが断線し、火災や感電の原因になります。</p>

チェックポイント

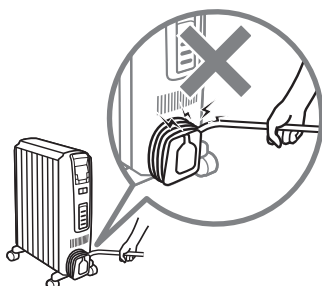
- 電源コードを束ねたり、コードホルダーに巻いたまま使っていませんか？



詳細説明

余った電源コードは残さずコードホルダーから解き、伸ばしたままお使いください。
電源コードを束ねたり、コードホルダーに巻いたままお使いになると、異常発熱し、火災の原因になります。

- 電源コードをコードホルダーに強く巻いていませんか？



収納するときは、電源コードをコードホルダーに強く巻きつけないでください。
電源コードを強く巻きつけると、コードの接続部が傷み、火災や感電の原因になります。

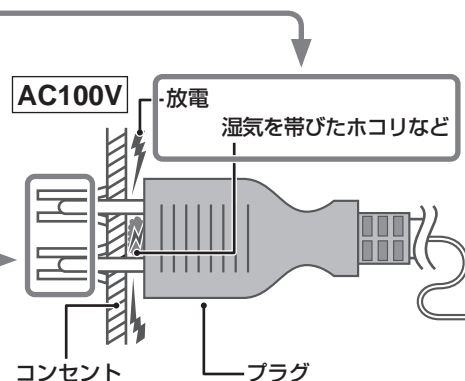
■トラッキング現象とは

火災の原因となる自然現象です。コンセント周りにホコリが溜まると、そこに湿気が加わることで異常電流が流れやすくなります。異常電流が長い時間続くと、電源プラグやコンセントの表面が炭化し、最終的に放電現象と火災が発生します。これがトラッキング現象です。

トラッキング現象は、定期的なお手入れで防ぐことができます(21ページ参照)。

■電源プラグとコンセントの接触不良に注意しましょう

コンセントに電源プラグが根元までしっかり差し込まれていないと、刃受けとプラグの刃が不十分な接触のために、コンセントが発熱します。この状態のまま使用し続けるとコンセントやプラグが熱で変形・変質して、さらに発熱し、火災の原因になります。



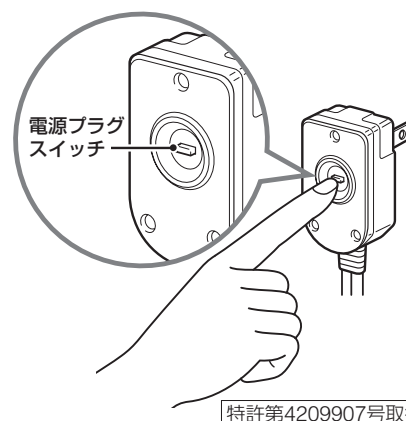
ご使用前に電源プラグをご確認ください

本製品の電源プラグは、復帰型温度過昇防止装置内蔵の安全プラグです。
復帰型温度過昇防止装置は、壁のコンセントの老朽化やガタツキによるプラグ部の発熱・発火事故を未然に防ぐために、電源プラグスイッチ周辺が異常過熱(約80℃以上)したときに本製品の電源を自動で切ります。

輸送時の環境により復帰型温度過昇防止装置が作動して、購入直後に本製品の電源が入らない場合がありますが、故障ではありません。

電源プラグをコンセントに差し込んでも通電ランプが点灯しないときは、電源プラグスイッチ(右図)をカチッと音がするまでプラグ内に押し込んでください。

- ご使用前(シーズンごと)に電源プラグスイッチがプラグ内に押し込まれているか確認してください。

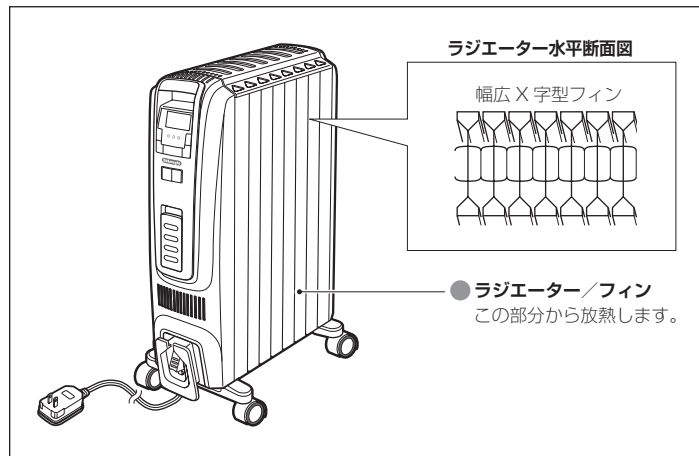


特許第4209907号取得

オイルヒーターについて

暖房のしくみ

ラジエーター内部に密封した難燃性オイルを本体の下部にある棒状の電気ヒーターで温めます。温められたオイルはパネル内を循環して、幅広X字型フィン(放熱板)から効率良く放熱された輻射熱と自然対流で室内を暖めます。



よくあるご質問(これは故障ではありません)

■使いはじめの臭いについて

使いはじめは新製品特有の臭いを感じることがあります。本体の耐熱塗装が熱になじむまで臭いを感じますが機能や安全性に問題はありません。しばらくお使いいただくと臭いはおさまります。

■運転中にパチッパチッと音がする

電源を入ると、ラジエーター内部で天ぷらを揚げのような音がする場合があります。これは、外気との温度差によって生じた結露が熱くなったオイルに落ちたときの音です。異常ではありません。

設置する

ご購入後すぐに



必ずキャスターを開いて使用する

※ 設置前に必ず折りたたみ式キャスターを開いてください。(開き方については表紙参照)

本機を移動するときは



本体の移動は、必ず本体が冷えてから行う

- 取っ手を持ちゆっくりと引いてください。
- 階段や段差を移動するときは、本体底部を持って移動してください。
 - ※ 持つときは必ず手袋などで手を保護してください。

設置場所についてのご注意



壁や電源をとるコンセント、カーテンなどから20 cm以上離す

※ 材質によっては、本体の熱で変色／変質する恐れがあります。

テーブルや机の下で使わない

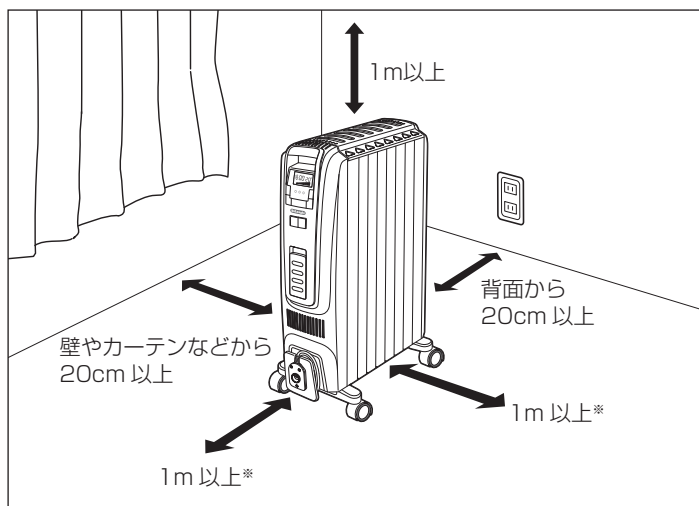
※ 本体の上部は燃えやすいものから1 m以上の距離を取ってください。上部をふさぐと空気の対流ができないため高温になります。

人やペットおよび家具などからは1 m以上離す

※ 寝室で使用するときは、寝起きの転倒事故防止、寝具への接近を考慮して1 m以上の距離を取ってください。

毛足の長いじゅうたんや凸凹のある床は避けて、平らな場所に置く

※ 本体が倒れるとけがの原因になります。

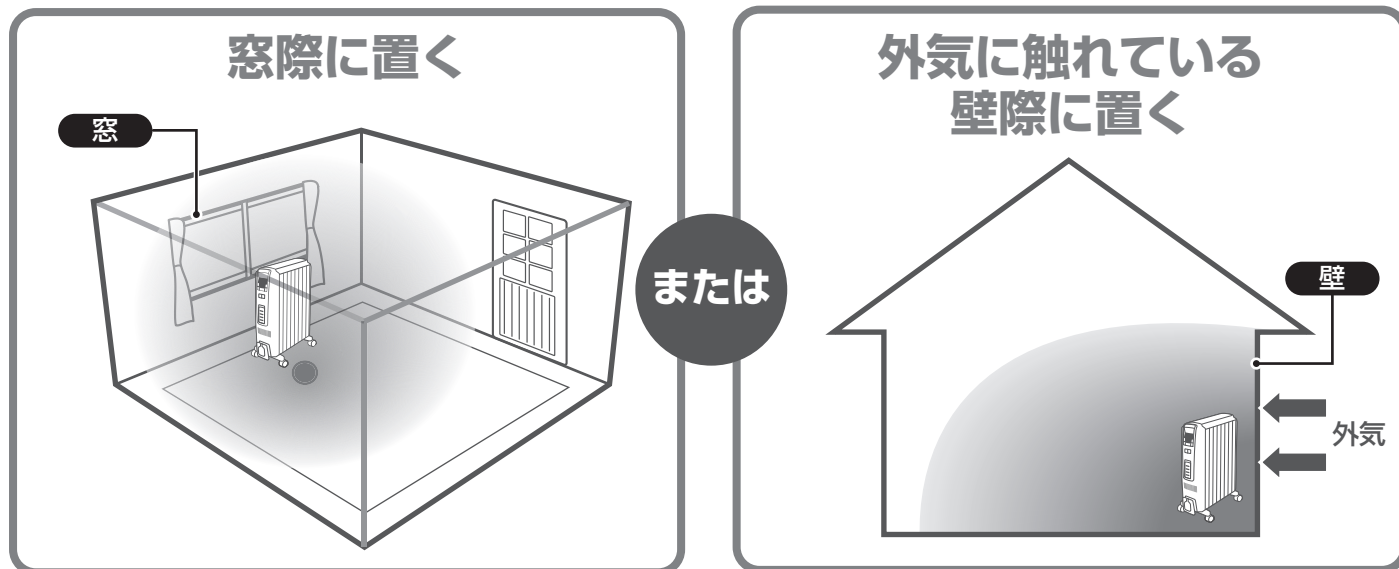


※寝室で使用する場合は、人や家具などから1 m以上離してください。

- ホットカーペットや床暖房の上で使用しないでください。温度センサーが正しく動きません。

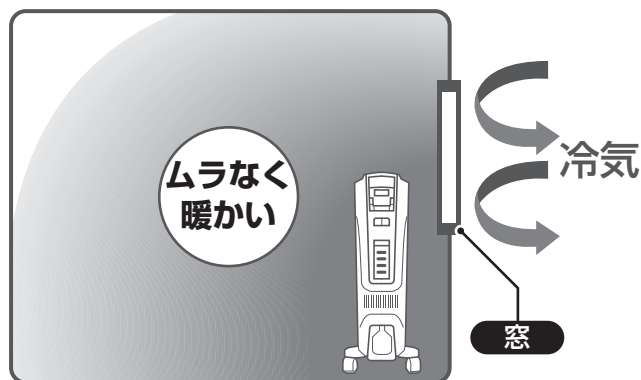
設置場所の工夫で効果的な暖房を

オイルヒーターの熱が、冷気の侵入をブロックすることで部屋の暖房効果が高まります。お部屋の中でも熱の逃げやすい、次のような場所に置いてください。



■ 設置場所の良い例と悪い例

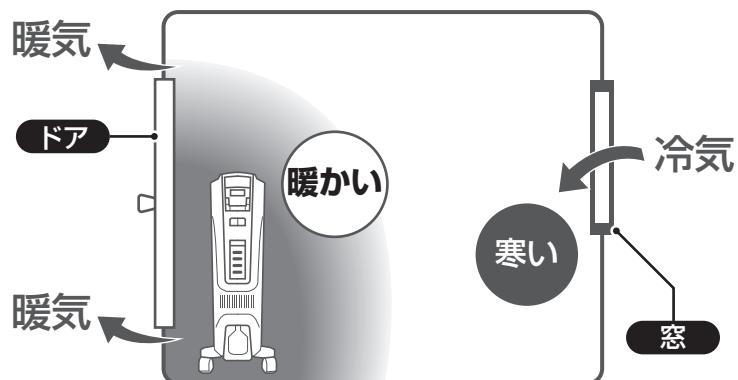
○ 良い例



- 窓際に置くとムラなく暖かい



× 悪い例



- 冷気が侵入し温度ムラができやすい
- ドア付近に設置すると暖気が逃げやすい

■ その他の工夫

窓からの冷気の侵入を防いで部屋の断熱性を高めると、さらに暖房効率が上がります。

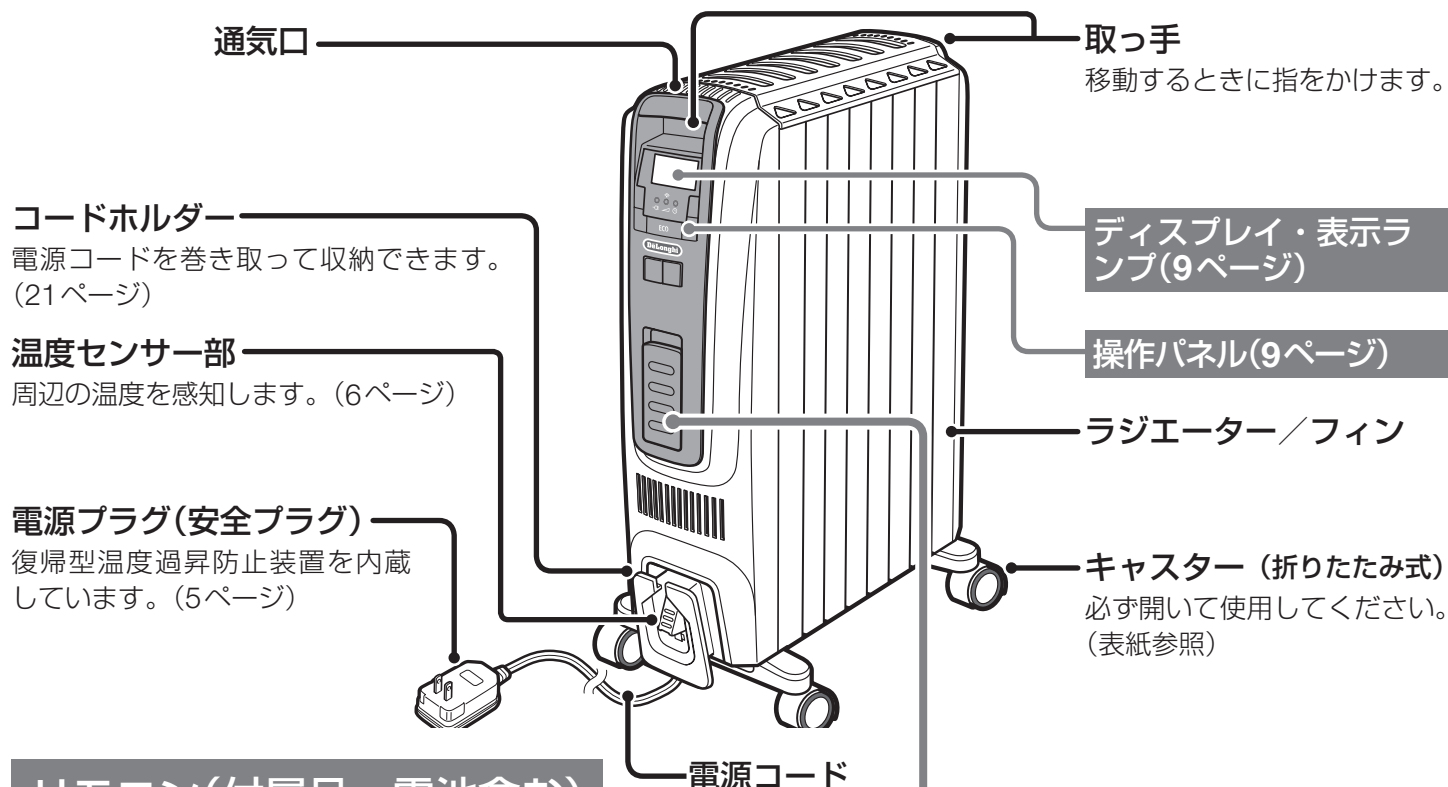
- 厚手で長めのカーテンを引く
- 窓に市販の断熱シートを貼る
- サッシに市販の断熱テープを貼る

各部の名称とはたらき

本体



ご使用の前に各部の輸送用の粘着テープやシールを必ずはずしてください。



リモコン(付属品、電池含む)

本書では、本体ボタンで操作を説明しています。
リモコンでも基本操作を行うことができます。

お知らせ

- リモコンで操作するときは、本体前面にリモコンを向けてください。
- リモコンからの信号を受信すると、本体から受信音が鳴り、電力レベルランプが一瞬点灯します。(操作音がオフのとき、受信音は鳴りません。)
- 本体前面に直射日光やその他の強い光を当てないでください。リモコンが正しく動かない場合があります。

電源ボタン(⏻)

運転を開始／停止します。

電力レベルボタン(📶)

電力レベルを切り替えます。

信号送信部

信号を送信します。

エコ運転ボタン(ECO)

エコ運転に切り替えます。

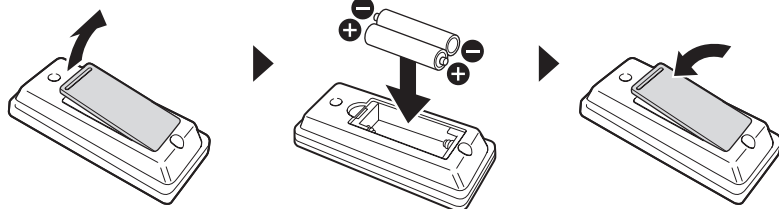
－／＋ボタン(🌡️)

温度設定を変更するときに
使用します。

■ 電池を入れる

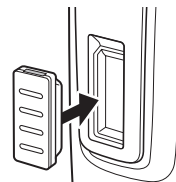
はじめてリモコンを使うときは、付属の電池(単4形2本)を入れてください。

- ① リモコン背面の電池カバーをはずす。 ② +、－を確認して電池 ③ 電池カバーを取り付ける



■ リモコンの収納

リモコンを本体の操作パネルに収納できます。本体内部の磁石がリモコン内の電池を吸着して収納します。



ディスプレイ・表示ランプ



ご使用の前にディスプレイの保護シールを必ずはがしてください。

ここでは、本体の運転状態の表示について説明しています。

タイマー運転表示

現在時刻がタイマーの予約時間(暖房運転時間)内であるときに表示されます。(15ページ)

エコ運転表示

エコ運転中に表示します。(10ページ)

時刻表示

現在時刻を表示します。また、タイマーを設定するときに使用します。時刻表示は24時間表示です。(13ページ)

タイマー設定表示

タイマーを設定するときに表示します。(14ページ)

通電ランプ(赤)

電源プラグをコンセントに差し込むと点灯します。

消音表示

操作音がオフのときに表示します。(17ページ)

チャイルドロック表示

チャイルドロックが設定されているときに表示します。(17ページ)

温度／タイマー予約表示

設定した温度を表示します。また、タイマー運転中はタイマー設定(A／b)を表示します。(10, 15ページ)

電力レベル設定表示

設定した電力レベルを表示します。(10ページ)

タイマーランプ(黄)

タイマー運転中は点灯／タイマー設定中は点滅します。(14ページ)

電力レベルランプ(緑／黄／赤)

運転時の電力レベルをランプの色でお知らせします。(10ページ)

操作パネル

電源ボタン

運転を開始／停止します。

電力レベルボタン

電力レベルを切り替えます。(10ページ)

－／＋ボタン

温度や各種設定を変更するときに使用します。

タイマー運転ボタン

タイマー運転に切り替えます。(15ページ)

設定ボタン

各種設定を変更するときに使用します。

エコ運転ボタン

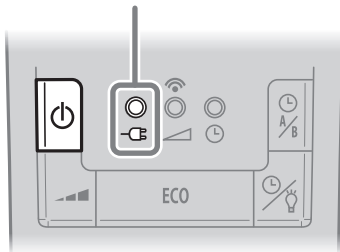
エコ運転に切り替えます。(10ページ)

暖房運転の基本操作

暖房運転

1 運転開始

通電ランプ(赤)が点灯



① 電源プラグをコンセントに差し込む

- 通電ランプ(赤)が点灯します。
- 時刻表示が点滅している場合は、 ボタンで現在時刻を表示させて、そのままボタン操作をせず5秒待ち、時刻を設定します。(詳しい設定方法は、13ページ参照)

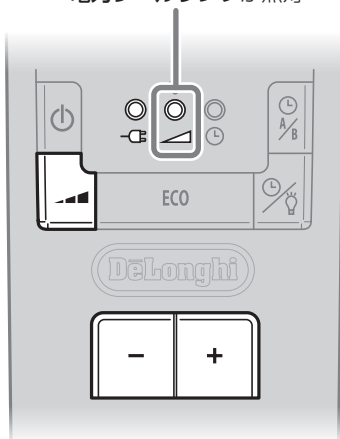
② ボタンを押して運転を開始する

- ディスプレイに現在時刻、電力レベル、および設定温度が表示されます。



2 暖房の設定

電力レベルランプが点灯



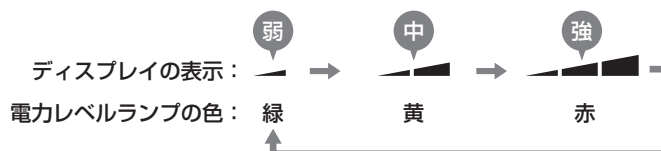
■ 基本の設定

① ボタンで好みの温度を設定する

- 5℃、および 10℃～28℃の間で設定できます。(温度設定について詳しくは、11ページ参照)
- 5℃に設定すると、凍結防止機能がオンになります。(17ページ)

② ボタンで電力レベルを設定する

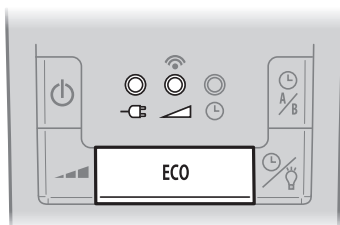
- 押すたびに弱・中・強が以下のように切り替わります。(電力レベルについて詳しくは、11ページ参照)



■ 電源レベルを自動で切り替えて経済的に運転する

運転中に ボタンを押す

- 通常運転からエコ運転に切り替えます。(エコ運転について詳しくは、11ページ参照)
- ディスプレイに **ECO** が表示されます。
- エコ運転中でも電力レベルを設定することができます。
- エコ運転を解除するには、再度 ボタンを押します。



3 運転停止

ボタンを押して運転を停止する

- 「ピー」と音が鳴って、ディスプレイの電力レベルと設定温度が消えます。

その他の機能

- | | | |
|--------------------|------------------|-------------------|
| ● タイマー運転→14ページ | ● チャイルドロック→17ページ | ● 操作音オフ→17ページ |
| ● ディスプレイの明るさ→17ページ | ● 凍結防止機能→17ページ | ● 設定内容のリセット→17ページ |

節電しながら快適な暖房を ～暖房設定のポイント～

その1

運転開始時にヒーター内部のオイルを早く温める

オイルヒーターは内部のオイルが温まりお部屋が快適な暖かさになるまでに、運転開始から30分～1時間程度かかります。そのため、運転開始時はオイルを早く温めるために電力レベルを「強」で運転することがポイントです。

■運転開始時の電力レベルを設定する→

強： 

ヒント


運転開始時は、温度設定も最大(28℃)に設定することをおすすめします。お部屋が快適な暖かさになったら適温を設定してください。(下記「その2」参照)

その2

お部屋が快適な暖かさになったら適温を設定する(温度設定)

お部屋が適温に暖まったら、温度設定で希望の温度に設定してください。一度快適な温度に設定してしまえば、基本的に温度設定を変更する必要はありません。その日の気温などによって、設定した適温を目安に微調整するだけで快適にお使いいただけます。

■適温を設定する→

電力レベルランプが消灯するまで  ボタンを繰り返し押す



- 電力レベルランプが点灯から消灯になる温度が適温の目安です。以降は、適温を保つため、運転の開始/停止(電力レベルランプの点灯/消灯)を自動で繰り返します。

お知らせ




- 設定温度が本機周辺の温度よりも低い場合、暖房が開始されません。(電力レベルランプが点灯しません。)
- 設定温度は本機周辺の温度の目安です。温度条件(外気温など)によって設定した温度に達しない場合があります。

その3

電力レベルを切り替えて暖めすぎを防ぐ

オイルヒーターは部屋の床や壁をムラなく暖め、オイル自体の蓄熱性も高いので、長時間運転中は暖房設定を弱めに設定してもお部屋の快適さが保てます。

- 本機は電力レベルを3段階(弱・中・強)に切り替えられます。お好みで使い分けてください。
- 電力レベルによって電力レベルランプの色、ディスプレイ表示、および消費電力が以下のように切り替わります。

	電力レベル	ディスプレイ表示	電力レベルランプ
弱	600W 運転		緑
中	900W 運転		黄
強	1500W 運転		赤

- エコ運転のときは運転状態(電力レベル)をランプの色で確認できます。

エコ運転：電力レベルを自動で切り替えて、より経済的に運転する

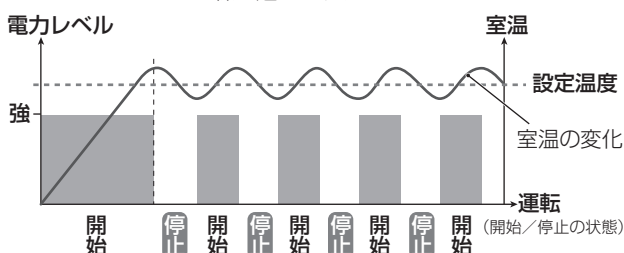
本機は通常運転よりも消費電力を抑えて運転する「エコ運転」モードを搭載しています。「エコ運転」モードは、設定した電力レベルを上限として、暖まり具合に応じて電力レベルを自動で切り替えながら運転の開始/停止を繰り返すため、通常運転よりも経済的です。(下記参照)

通常運転とエコ運転の違い

※電力レベルを「強」で運転したときのイメージ

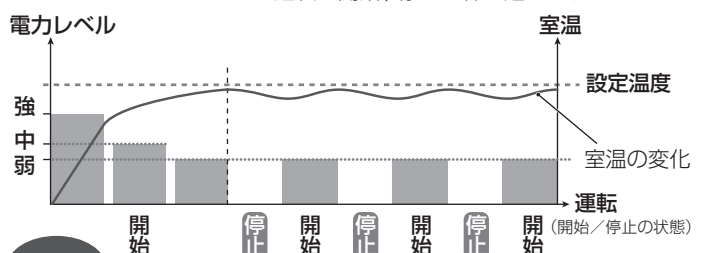
通常運転

設定した電力レベルで運転の開始/停止を繰り返します。



エコ運転

暖まり具合に応じて電力レベルを自動で切り替えながら運転の開始/停止を繰り返します。



さらに

設定温度よりもひかえめな温度(設定温度よりも約0.5～2℃低い温度)で運転するので長時間運転するときには経済的です。

タイマーを使ってもっと便利に

タイマー機能を使って暖房運転を自動で開始／停止できます。朝起きる時間や帰宅する時間に合わせて、事前に室内を暖めておきたいときに便利です。また、自動で運転を停止するため消し忘れる心配がありません。

生活パターンに合わせてタイマーを設定することで、1シーズン手間をかけずに本機をご使用いただけます。

同時に2つのタイマー設定が可能

タイマー A

と

タイマー b

開始のみ／停止のみのタイマー設定も可能

オンタイマー

または

オフタイマー

たとえば平日のタイマー設定 ～ タイマー Aとタイマー b ～

タイマー Aは平日の朝：「起床1時間前に運転開始 ～ 外出時間に運転停止」

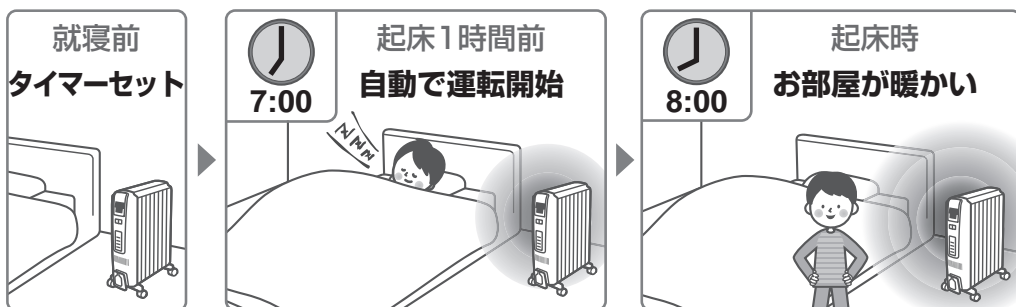


タイマー bは平日の夜：「帰宅1時間前に運転開始 ～ 就寝時間に運転停止」



たとえば休日のタイマー設定 ～ オンタイマーまたはオフタイマー ～

オンタイマーは休日の朝：
「起床1時間前に運転開始」



オフタイマーは休日前夜：
「就寝1時間後に運転停止」

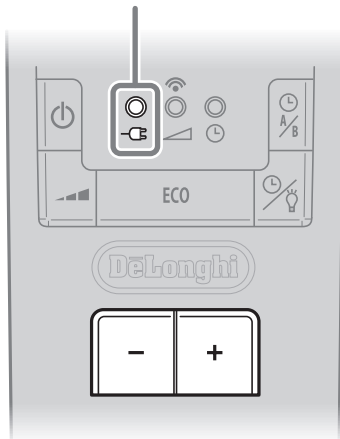


現在時刻の設定

使いはじめに現在時刻を合わせる

ご購入後初めて使用するときや長時間電源プラグをコンセントから抜いていたときは、現在時刻を設定してください。また、タイマー運転を行うには現在時刻の設定が必要です。

通電ランプ(赤)が点灯





① 電源プラグをコンセントに差し込む

- 通電ランプ(赤)が点灯して、時刻表示が点滅します。



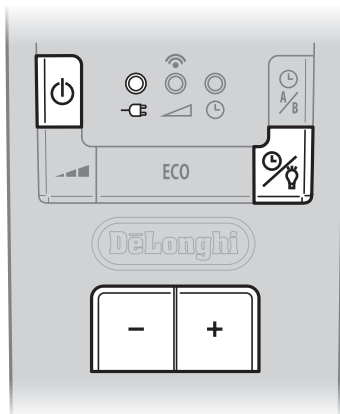
② ボタンで時刻を合わせる

-  ボタンを押すたびに1分ずつ進みます。長押しすると早送りできます。
-  ボタンを押すたびに1分ずつ戻ります。長押しすると早戻しできます。
- 時刻を合わせたら、そのままボタン操作をせず5秒待ちます。時刻表示が点滅から点灯に変わり、設定が確定します。

お知らせ

- 現在時刻の設定は、電源プラグを抜いても約2時間は記憶しています。ただし、あらかじめ15分以上電源プラグをコンセントに差ししておく必要があります。
- 再度電源プラグを差したときに現在時刻の設定が記憶されていれば、再度設定する必要はありません。

現在時刻を変更する





① ボタンを押して電源をオンにする

② ボタンを5回押して時刻表示を点滅させる



③ ボタンで時刻を合わせる

-  ボタンを押すたびに1分ずつ進みます。長押しすると早送りできます。
-  ボタンを押すたびに1分ずつ戻ります。長押しすると早戻しできます。
- 時刻を合わせたら、そのままボタン操作をせず5秒待ちます。時刻表示が点滅から点灯に変わり、設定が確定します。

タイマー運転のしかた

タイマーを設定する前に以下のことを確認してください。

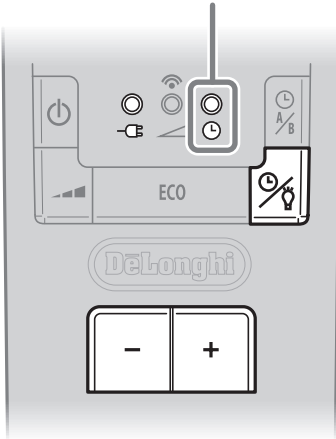
1 電源は入っていますか？ (10 ページ)

2 現在時刻は正しく設定されていますか？ (13 ページ)

1 タイマー設定

※タイマー運転は【タイマー A】、【タイマー b】、【タイマー A と b】の 3 通りで運転することができます。(12 ページ)

タイマーランプ(黄)が点滅



設定例

ここでは、次のようにタイマーを設定する場合を例にして説明します。

お知らせ

タイマー設定が完了する前にボタン操作をしない状態が5秒続くと、通常運転に戻ります。

【タイマー A】



朝の運転

- 5時に運転開始
- 8時に運転停止

【タイマー b】



夜の運転

- 19時に運転開始
- 24時に運転停止

① 1/10 ボタンでタイマー設定を開始する

- ディスプレイの時刻表示が点滅して、**ON**が表示されます。
- タイマーランプ(黄)が点滅します。
- 本機をはじめて使用する場合や設定内容をリセットした後は、運転時刻が未設定の状態(--)で表示されます。

② -/+ ボタンで運転開始時刻を設定する

- **+** ボタンを押すたびに1分ずつ進みます。
長押しすると早送りできます。
- **-** ボタンを押すたびに1分ずつ戻ります。
長押しすると早戻しできます。

③ 1/10 ボタンで設定を確定する

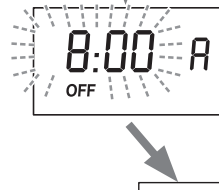
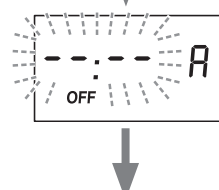
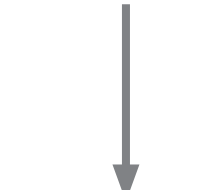
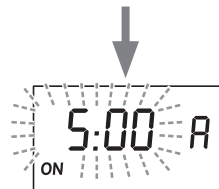
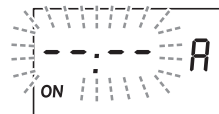
- ディスプレイの時刻表示が点滅して、**OFF**が表示されます。

④ -/+ ボタンで運転停止時刻を設定する

- そのままボタン操作をせず5秒待ちます
- 運転停止時刻の点滅から運転画面に変わり、設定が確定します。
- タイマーランプ(黄)が消灯します。

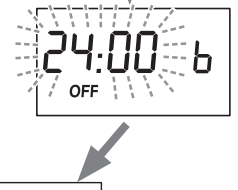
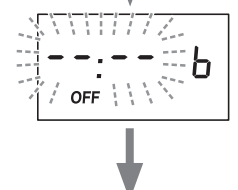
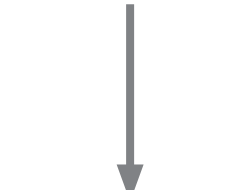
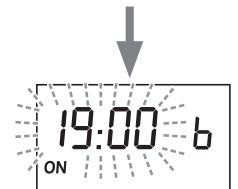
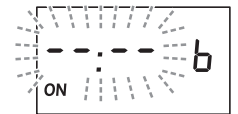
【タイマー A】を設定するとき

- 1/10 ボタンを1回押します。



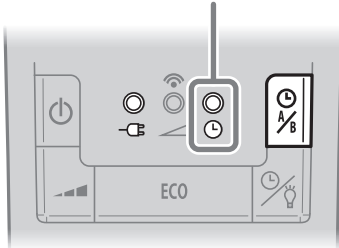
【タイマー b】を設定するとき

- 1/10 ボタンを3回押します。



2 タイマー運転開始

タイマーランプ(黄)が点灯



お知らせ

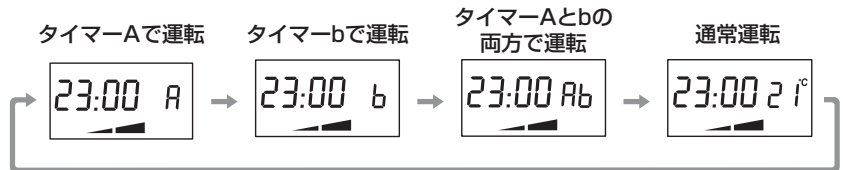
オンタイマーとオフタイマーは同時に運転できません。(16ページ)

1 暖房運転の設定をする

- 設定方法については 10 ～ 11 ページを参照してください。

2 ボタンで使用するタイマー設定を選択する

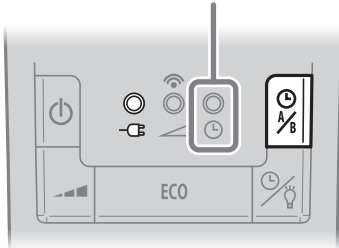
- 押すたびに以下のように切り替わります。



- 選択した時点でタイマー運転を開始します。
- タイマー運転中はタイマーランプ(黄)が点灯します。
- 現在時刻がタイマーの予約時間(暖房運転時間)内ときは、ディスプレイにタイマー運転表示(AUTO)が表示されます。

3 タイマー運転解除

タイマーランプ(黄)が消灯



運転中に ボタンを繰り返し押す

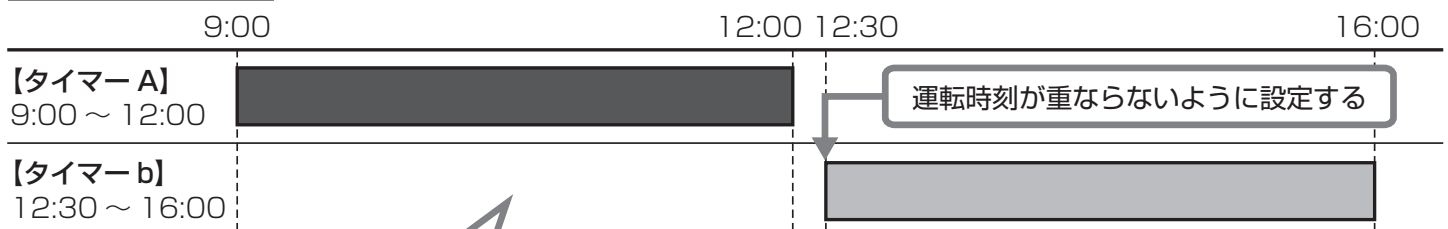
- タイマーランプ(黄)が消灯するまで、繰り返し押します。
- タイマー運転が解除されると、ディスプレイが通常運転表示(右記)になります。



タイマー A とタイマー b を同時に設定したときのご注意

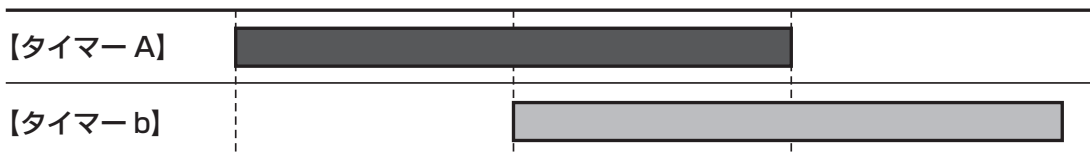
タイマー A とタイマー b を同時に設定する場合は、運転時刻が重ならないように設定してください。

正しい設定例



正しく動作しない設定例

下図のように運転時刻を重ねて設定すると正しく動作しません。



タイマー運転のしかた

オンタイマー／オフタイマー

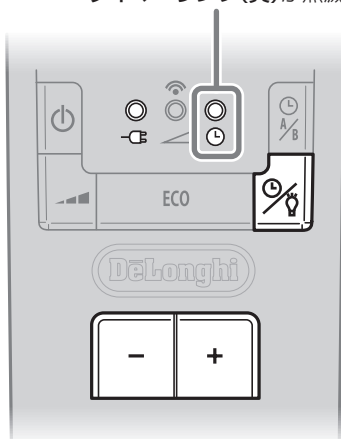
開始時刻または停止時刻のみを設定してタイマー運転を行うことができます。

お知らせ

オンタイマーとオフタイマーは同時に運転できません。オンタイマー / オフタイマーを使うときは、タイマー A または b のどちらか 1 つで運転をしてください。

運転開始時刻のみ設定する(オンタイマー)


タイマーランプ(黄)が点滅



お知らせ

タイマー設定が完了する前に、ボタン操作をしない状態が5秒続くと、通常運転に戻ります。

① ボタンを1回押す

- タイマーランプ(黄)が点滅します。
- タイマー b を使用するときには  ボタンを3回押します。
- 以降はタイマー A、b ともに同じ操作です。



タイマー b のとき

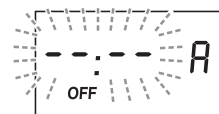
② ボタンで開始時刻を設定する



③ ボタンで設定を確定する

④ ボタンで停止時刻を未設定にする

- すでに停止時刻が設定されているときは、--:-- が表示されるまで繰り返し押します。
- そのまま5秒待ちます。時刻表示が点滅から点灯に変わり、設定が確定します。
- タイマーランプ(黄)が消灯します。

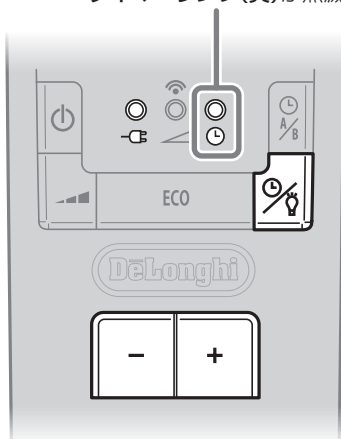


未設定時のディスプレイ

以上で設定は完了です。続けてタイマー運転を開始します。(15ページ参照)

運転停止時刻のみ設定する(オフタイマー)


タイマーランプ(黄)が点滅



お知らせ

タイマー設定が完了する前に、ボタン操作をしない状態が5秒続くと、通常運転に戻ります。

① ボタンを1回押す

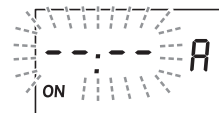
- タイマーランプ(黄)が点滅します。
- タイマー b を使用するときには  ボタンを3回押します。
- 以降はタイマー A、b ともに同じ操作です。



タイマー b のとき

② ボタンで開始時刻を未設定にする

- すでに開始時刻が設定されているときは、--:-- が表示されるまで繰り返し押します。



未設定時のディスプレイ

③ ボタンで設定を確定する

④ ボタンで停止時刻を設定にする

- そのまま5秒待ちます。時刻表示が点滅から点灯に変わり、設定が確定します。
- タイマーランプ(黄)が消灯します。



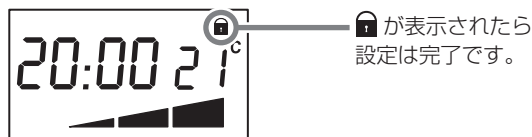
以上で設定は完了です。続けてタイマー運転を開始します。(15ページ参照)


便利な機能

チャイルドロック

操作パネルで操作ができなくなります。

 ボタンと  ボタンを同時に3秒間押し続ける



- チャイルドロックを解除するには ▶ 上記と同じ操作を行う
-  が消えて操作パネルでの操作が可能になります。

お知らせ チャイルドロックを設定していてもリモコンでの操作は可能です。

ディスプレイの明るさ

① 運転中に  ボタンを6回押す

- ディスプレイに右記のように表示されます。




②   ボタンで明るさを調整する

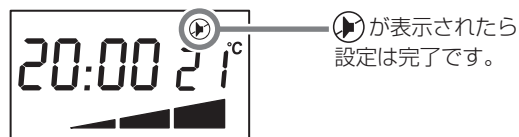
- 明るさは4段階(3段階+消灯)で調整できます。
- そのままボタン操作をせず5秒待つと、設定が確定します。


- お知らせ**
- ボタン操作中および操作後の5分間は最大の明るさで表示されます。操作しない状態が5分間続くと、設定した明るさで表示されます。
 - 電源をオフにしても設定は記憶されます。

操作音オフ

リモコンの操作時や運転停止時の音を消すことができます。

運転中の本体に向けて、リモコンの電力レベルボタン()を5秒間押し続ける



- 消音を解除するには ▶ 上記と同じ操作を行う
- 「ピーッ」と音が鳴り、 が消えると解除は完了です。

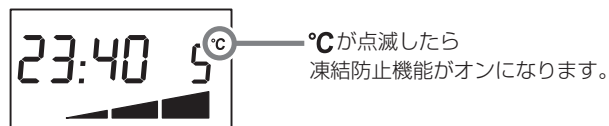
お知らせ 本体の操作パネルでは設定できません。

凍結防止機能


周囲の温度が約5℃以下にならないように自動で運転を開始します(凍結防止運転)。室温の下がりすぎを防ぎます。

運転中に温度表示が5℃になるまで

 ボタンを押す



- 本体周辺の温度が約5℃以下になると凍結防止運転を開始します。

- 凍結防止運転を終了するには ▶  ボタンで温度を10℃以上に設定する


- お知らせ**
- 電力レベルは切り替えられません。「強」に設定されます。
 - エコ運転は使用できません。

設定内容のリセット

設定内容をリセットすると、下記の設定が工場出荷状態に戻ります。

- 温度の設定：21℃
- タイマー設定：未設定
- ディスプレイの明るさ：4段階(3段階+消灯)の2段階目の明るさ

リセットするには ▶

電源がオフのときに  ボタンを5秒間押し続ける

- リセットが完了すると「ピーッ」と音が鳴ります。(操作音をオフに設定しているときは鳴りません。)

お知らせ その他の設定の記憶保持について

右記の設定内容は、電源プラグを抜いてから約2時間記憶されます。

※ 設定内容を記憶するには、あらかじめ15分以上電源プラグに差しておく必要があります。

- 現在時刻
- 電力レベル
- 操作音

故障かな？

修理をご依頼いただく前に、以下の項目をご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（23ページ参照）までお問い合わせください。

暖房運転

症状

電源ボタンを押しても電源が入らない

チェック①

電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？

電源プラグ（刃）をコンセントに根元までしっかりと差し込んでください。ガタツキのあるコンセントは使用しないでください。（4ページ）

チェック②

電源プラグの復帰型温度過昇防止装置が作動していませんか？

輸送／保管時の環境により復帰型温度過昇防止装置が作動することがあります。（5ページ）
使用中に作動した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、当社テクニカルセンターにご連絡ください。（23ページ）

チェック③

チャイルドロックが設定されていませんか？（本体ボタンで運転できない場合）

チャイルドロックを設定していると本体ボタンでは運転開始できません。（17ページ）

症状

電源ボタンを押しても電力レベルランプが点灯しない

チェック①

設定温度が低すぎませんか？

設定温度を上げてください。（11ページ）

チェック②

タイマー運転（運転停止設定時間内）をしていませんか？

タイマー設定した運転停止時間内に暖房を開始したいときはタイマー運転を解除します。（15ページ）

症状

室内がなかなか暖かにならない

チェック①

運転を開始したばかりではありませんか？

オイルが温まるまでに約30分～1時間かかります。室内を暖めておきたい時間の1時間前に運転が始まるようにタイマーを設定しておく便利です。（12ページ）

チェック②

ドア（出入口）付近に設置していませんか？

ドア（出入口）から離れた場所に設置してください。（7ページ）

チェック③

ホットカーペットや床暖房の上に設置していませんか？

ホットカーペットや床暖房の上で使用しないでください。温度センサーが正しく働きません。（6ページ）

チェック④

電力レベルを「弱」に設定していませんか？

室外の気温が非常に低いなど部屋の環境によっては、「弱」では暖まりにくい場合があります。電力レベルを強めに設定してください。（10ページ）

チェック⑤

設定温度が低すぎませんか？

設定温度を上げてください。（11ページ）

電源プラグ

症状 電源プラグ・コードが異常に熱くなる

チェック

電源プラグ・コードは正しく接続されていますか？

「電源プラグ・コード、コンセントの安全チェックシート」(4ページ)に従って、電源プラグ・コード、および壁のコンセントを点検してください。

タイマー運転

症状 タイマー設定した時刻になっても運転が開始されない

チェック①

タイマー A とタイマー b の設定時間が重なっていませんか？

タイマー A とタイマー b の設定時刻が重ならないように設定してください。(15ページ)

チェック②

設定温度が低すぎませんか？

設定温度を上げてください。(11ページ)

症状 タイマー設定した時刻になっても運転が停止しない

チェック①

タイマー A とタイマー b の設定時間が重なっていませんか？

タイマー A とタイマー b の設定時刻が重ならないように設定してください。(15ページ)

右上のチェック②に続きます。

チェック②

オンタイマーとオフタイマーを同時に設定していませんか？

どちらか1つだけを設定してください。(15ページ)

リモコン

症状 リモコンで操作できない/違う動作をする

チェック①

本体前面に向けて操作していますか？

リモコンの信号送信部を本体前面に向けて操作してください。(8ページ)

チェック②

リモコンの電池が消耗していませんか？

新しい電池と交換してください。(8ページ)

チェック③

本機の付属リモコンを使用していますか？

本機専用の付属リモコンを使用してください。

症状 リモコンを本体に収納できない

チェック

電池が入っていますか？

電池を入れてください。(8ページ)
本体内部の磁石がリモコンの電池を吸着して収納します。

故障かな？

操作パネル

症状 各種ランプは点灯するがディスプレイが消えている

チェック

ディスプレイの明るさを「消灯」に設定していませんか？

▼
ディスプレイの明るさを調整してください。
(17ページ)

症状 操作パネルのボタンを押してもディスプレイの表示が変わらない

チェック①

ディスプレイに保護シールが貼られたままになっていませんか？

▼
保護シールをはがしてください。

チェック②

チャイルドロックが設定されていませんか？
(本体ボタンで運転できない場合)

▼
チャイルドロックを設定していると本体ボタンでは操作できません。(17ページ)

本体

症状 内部のオイルが漏れている

正常状態ではありませんので、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

経年劣化などにより偶発的に発生した症状の可能性があります。

本体内部のオイルは難燃性で発火に至ることはありません。また、皮膚に触れても人体に重大な危険はありません。万が一オイルが漏れた場合は、以下のとおりに対処してください。

- 漏れたオイルはタオルなどで拭き取ってください。
- 必要に応じて窓を開けるなどして室内を換気してください。
- オイルが皮膚に付着した場合は、ぬるま湯と石鹸で洗浄してください。
- 上記対処後、当社テクニカルセンター（23ページ）にご連絡ください。

これは故障ではありません

症状 使いはじめの臭い

使いはじめは新製品特有の臭いを感じることがあります。しばらくお使いいただくと臭いはおさまります。
(6ページ)

症状 パチッパチッと音がする

外気との温度差によってラジエーター内部で発生した結露が熱くなったオイルに落ちたときの音です。異常ではありません。(6ページ)

症状 まれに「カンカン」や「キーン」といった金属音がする

本体が温まったり、冷めたりする際に発生する音です。異常ではありません。

お手入れ／保管のしかた



- お手入れや保管をする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う
- 絶対に水に浸したり、水洗いをしない

お手入れ

定期的なお手入れ

- 本体および床や壁との隙間に溜まっているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。
- 壁のコンセント（刃受）および電源プラグ（刃）に付着しているゴミやホコリは、定期的に掃除機などで必ず取り除いてください。トラッキング現象の防止となります。（5ページ）

本体が汚れたら

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、硬く絞ってから拭いてください。



洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しない

保管のしかた

① 保管前のお手入れ

このページの「お手入れ」に従って、本体の汚れやたまったホコリを取り除いてください。

② プラグの収納

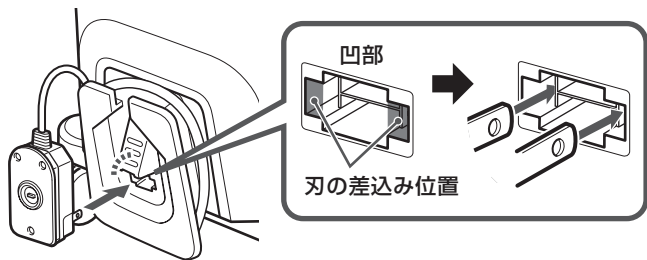
保管する前に、次の手順で電源プラグを収納します。

① 電源コードをコードホルダーに軽く巻く

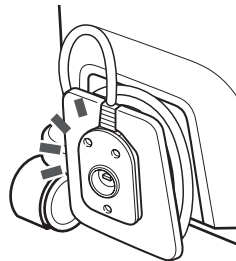


電源コードをコードホルダーに強く巻かない（火災の原因）

② 電源プラグの刃を凹部の両端に平行に合わせ、真っ直ぐ差し込む



③ 電源プラグを凹部の奥までしっかりと差し込む



電源プラグは収納部に正しく差し込んでください。無理に差し込むと故障する恐れがあります。

③ 保管するときの注意

- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 箱に収納しない場合は、必ずキャスターを開いた状態で保管してください。



保管の際は、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かない

仕 様

型式番号	DDQ0815	
適用畳数	～ 10畳まで	
電圧／周波数	交流 100V ／ 50/60Hz	
定格	強	1500 W
	中	900 W
	弱	600 W
外形寸法(約)	長さ 49.5 cm × 幅 26.5 cm × 高さ 66 cm	
質量(約)	15 kg	
フィン枚数	8枚	
フィン形状	幅広X字型	
タイマー	デジタルタイマー	
安全装置	転倒時自動電源遮断装置、温度過昇防止装置(本体内部)、 復帰型温度過昇防止装置(電源プラグ内)	
付属品	リモコン、リモコン用乾電池(単4形×2本)	
原産国	中国	

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS 指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合 (EU) による指令です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル(PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル(PBDE)の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



アフターサービス

使用中に異常(★)が生じた場合：

直ちに電源を切り（＝運転中止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「故障かな？」（18ページ）で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（下記）にご相談ください。

★以下のような場合には、点検および修理が必要です

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 電源コード、電源プラグが変形／破損している
- 操作パネルや放熱板に、水などの液体をこぼした
- 本体に強い衝撃（転倒・落下）を与えた
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

万一故障した場合：

保証書に記載されている販売店に、「① お買い上げ日」、「② 製品名称と型式番号」、「③ 故障の状況」をご連絡の上、修理をご依頼ください。

※ 宅配便等を利用して当社テクニカルセンター（下記）に直送される場合は、必ず故障の状況を記載したメモを同封くださるようお願いします。

※ 修理品の送付先については、お電話またはホームページ（下記）でご確認ください。

※ 保証規定については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間について：

当社では、このオイルヒーターの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

まごころ点検について：

長年ご使用のヒーターは、点検をお勧めします。



保証期間（3年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をお勧めします。点検の依頼および料金等につきましては、当社テクニカルセンター（下記）にお問い合わせください。

デロンギ再資源化システムについて：

ご不要になった製品は、下記の要領に従い、当社テクニカルセンター（下記参照）までお送りください。

素材ごとに分別し、再資源化いたします。



● **送料について**：再資源化の費用は当社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となります。予めご了承ください。

● **梱包について**：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※ 修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※ 送り先については、事前にお電話またはホームページ（下記）にてご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、販売店または当社テクニカルセンター（下記）にお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン テクニカルセンター（受付時間：土、日、祝日を除く毎日9:30～17:00）

コールセンター Tel. 0120-804-280

Fax. 045-450-3291

〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町13-13

ホームページでのお問い合わせ(URL) <http://www.delonghi.co.jp/support>